

令和2年度

# 事業報告書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月 31日

社会福祉法人 安那福社会

# 目次

1. はじめに .....	1
2. 法人業務の概要 .....	1
3. 職員配置 .....	3
4. 財務状況 .....	4
5. 年間行事 .....	6
6. 特別養護老人ホーム .....	7
7. ケアハウス(軽費老人ホーム) .....	10
8. デイサービス .....	11
9. 居宅介護支援事業所 .....	12
10. グループホーム .....	13
11. 地域包括支援センター .....	14
12. 食事サービス .....	16
13. 保健衛生 .....	17
14. ボランティア活動の状況 .....	18

## 1. はじめに

介護保険制度は、創設から20年が経過し、高齢者の介護・暮らしを社会全体で支える社会保障制度として、定着、発展してきており、これまで、社会福祉法人安那福祉会は地域福祉の担い手として、運営施設でのサービス提供を中心に地域に貢献してきた。

令和2年度においては、6月に中期経営計画を策定し、今後の介護サービス需要の増加・多様化や介護職員等の人材不足、施設設備の老朽化への対応など、当法人を取り巻く経営環境の変化に的確に対応できるよう、経営基盤の強化に向け、中長期的な視点からの課題解決策や個別実施計画の作成など具体的な取組を進めてきた。

また、年間を通じて、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、日常生活の在り方が大きく変化し、施設においても、これまで以上に感染防止対策の徹底に取り組んできた。しかしながら、本年1月、施設内で感染者が確認され、各方面からのご支援を受けながら、職員一丸となって乗り越え、早期の収束につなげることができた。

このような状況下で、令和2年度決算を見ると、事業活動増減差額(収支)は、利用者減や人件費、修繕費増などにより、前年度の僅かな黒字から、2,473万円の多額の赤字となった。中期経営計画で定める経営基盤強化策だけでなく、これまでの事業運営方法など抜本的な見直しが必要となっている。

今後とも、的確な対応が限られた人員等で実施できるよう、現在の業務・体制等について総点検を行い、PDCAサイクルを十分に回しながら、最適な運営形態のもと、今後も持続的にサービス提供を行い、地域の介護ニーズ等に着実に応えていきたい。

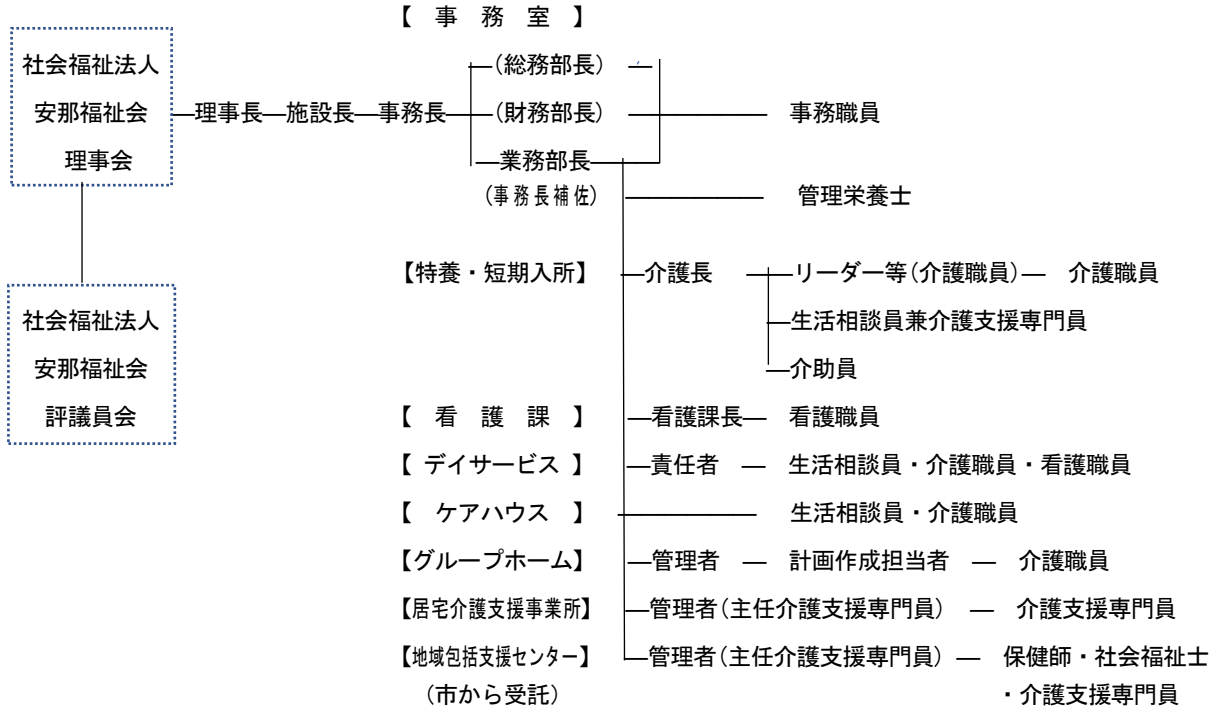
## 2. 法人業務の概要

### (1) 事業所等の概要

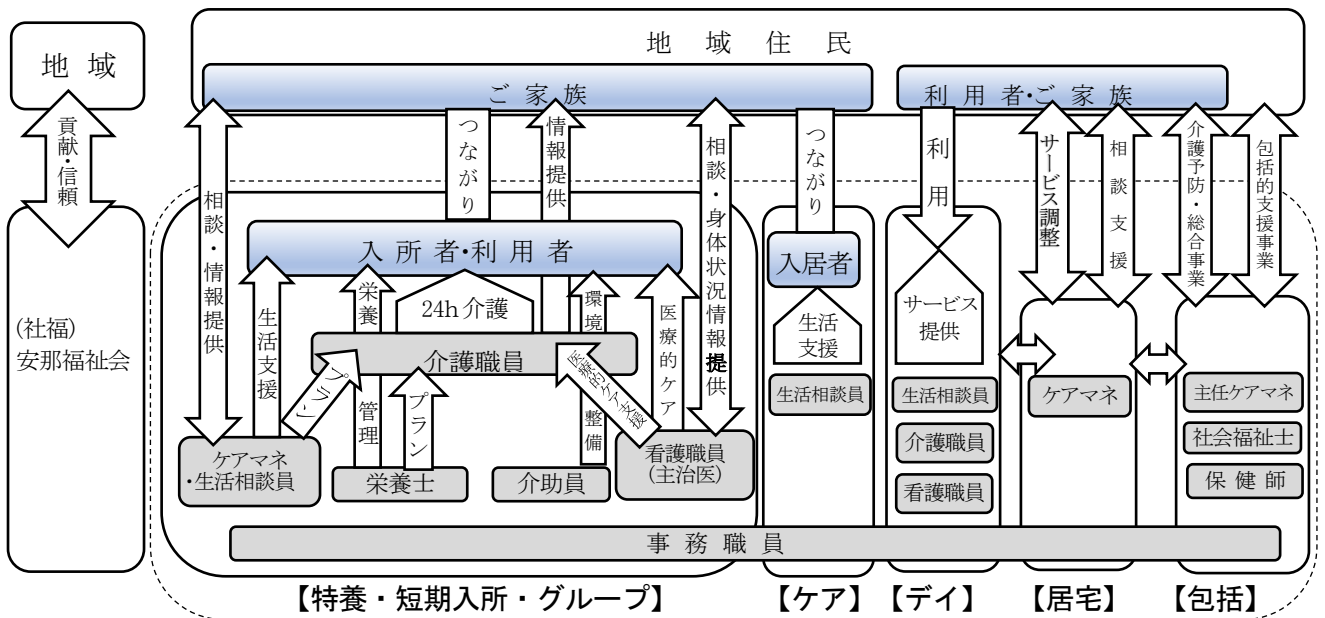
事業所等名称	事業開始年月日 (下線は開設当初)	定員 等	利用人員 (期末現在)	職員数 (R3.4.1 現在)	備 考
特別養護老人ホーム サンサンホーム	<u>1998(H10).1.1</u>	50	49	34	
ユニット型特別養護老人 ホーム サンサンホーム	2002(H14).4.1	40	39	27	一部ユニット型特養で開設、 現行認可 2014(H26).4.1
短期入所生活介護事業所 サンサンホーム	<u>1998(H10).1.1</u>	16	14	5	年間実利用者 47 人
デイサービスセンター サンサンホーム通所介護事業所	<u>1998(H10).1.1</u>	30	11.6 (1日平均)	6	年間実利用者 17 人
ケアハウス サンサンホーム	<u>1998(H10).1.1</u>	16	15	2	16 部屋(2 人部屋 4)
グループホーム サンサンホーム	2004(H16).4.1	9	9	8	開設 2 ユニット(12 人)を 2017(H29).10.1~1 ユニット
居宅介護支援事業所 サンサンホーム	1999(H11).10.1	—	年間 55 (実給付管理)	2	
福山市地域包括支援セン ターかんなべ	2006(H18).4.1	—	年間 1,774 (実相談者)	5	相談者は65歳以上高齢 者のみを計上
事務室等管理部門	—	—	—	7	
計	—	—	—	96	

※職員数は、産・育休者等を除く現員。

(2) 組織体制 (R3.4.1 現在)



【参考図】 総合力発揮のイメージ



(3) 業務推進体制(主な会議・委員会)

区分	協議内容	開催時期
部門責任者等会議	○法人全体の運営課題の検討・整理、各部門課題への助言	毎月
感染症対策委員会	○感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための対策検討	5月・8月・11月・2月 (合同委員会)
事故防止委員会	○介護事故発生の未然防止、再発防止などの検討 ○事故発生時の最善の処置、対応策の検討	
医療的ケア対策推進委員会	○医療従事者と介護職員の連携による医療的ケア(口腔内のたんの吸引、胃ろうによる経管栄養)の実施に関する事	
身体拘束廃止委員会	○身体拘束廃止に向け、身体拘束を実施せざるを得ない場合の検討など	
給食委員会	○利用者の状態にあった食事内容の検討 ○行事特別食など献立内容の確認調整	毎月

### 3. 職員配置

(人員は4月1日現在)

#### ①事業所別職員内訳

		(人)		
	職名	R2年度	R3年度	増減
事務	施設長	1	1	0
	事務長	1	1	0
	事務長補佐(業務部長)	1	1	0
	事務員	4	4	0
	計	7	7	0
特養 (従来型)	生活相談員	0	0	0
	介護支援専門員	1	1	0
	管理栄養士	0	0	0
	機能訓練指導員	0	0	0
	介護職員	28	27	-1
	介助員	2	2	0
	看護職員	2	3	+1
	医師	1	1	0
	計	34	34	0
特養 (ユニット型)	生活相談員	0	0	0
	介護支援専門員	1	1	0
	管理栄養士	0	1	+1
	栄養士	1	0	-1
	機能訓練指導員	0	0	0
	介護職員	21	22	+1
	介助員	1	1	0
	看護職員	2	2	0
	計	26	27	+1
短期	生活相談員	1	1	0
	介護職員	4	4	0
	計	5	5	0
デイ	生活相談員	1	1	0
	介護職員	3	3	0
	看護職員	2	2	0
計	6	6	0	
ケア	生活相談員	1	1	0
	介護職員	1	1	0
	計	2	2	0
居宅	主任介護支援専門員	1	1	0
	介護支援専門員	1	1	0
	計	2	2	0
グループホーム	計画作成担当者	1	1	0
	介護職員	5	7	+2
	計	6	8	+2
包括	保健師(看護師)	1	1	0
	主任介護支援専門員	1	2	+1
	社会福祉士	2	2	0
	介護支援専門員	1	0	-1
	計	5	5	0
小計(現員)		93	96	+3
育休他		2	2	0
法人全体計		95	98	+3

#### ②年齢別職員内訳

		(育休他除)(人)		
区分	R2年度	R3年度	増減	
18～19歳	0	0	0	
20～29歳	10	11	+1	
30～39歳	27	27	0	
40～49歳	23	29	+6	
50～59歳	15	18	+3	
60歳以上	18	11	-7	
計	93	96	+3	

#### ③勤務形態別職員内訳

		(育休他除)(人)		
区分	R2年度	R3年度	増減	
常勤 A	80	89	+9	
常勤的非常勤	4	2	-2	
非常勤	9	5	-4	
計 B	93	96	+3	
(参考) 常勤比率 A÷B	86.0%	92.7%	+6.7%	

#### ④職種別職員内訳

		(育休他除)(人)		
区分	R2年度	R3年度	増減	
介護職員	62	64	+2	
介護支援専門員(主任含む)	6	6	0	
生活相談員	3	3	0	
機能訓練指導員	0	0	0	
管理栄養士/栄養士	1	1	0	
看護職員	6	7	+1	
保健師	1	1	0	
計画作成担当者	1	1	0	
社会福祉士	2	2	0	
事務員(施設長・事務長含む)	7	7	0	
介助員	3	3	0	
医師	1	1	0	
計	93	96	+3	

#### ⑤男女別職員内訳

		(育休他除)(人)		
区分	R2年度	R3年度	増減	
男	36	38	+2	
女	57	58	+1	
計	93	96	+3	

#### 【増減の理由等】

②年齢別・・・60歳以上:定年(65歳)間近、定年後再雇用の退職者が多く、7人減。

補充は、各年齢層でほぼ同数。

③勤務形態別・・・常勤増:欠員職員の確保や同一労働同一賃金による常勤職員への変更。

非常勤減:非常勤職員の多くが60歳以上で、その職員が退職したため。

#### 4. 財務状況

##### ①法人全体

##### (1) 資金収支計算書

(単位：千円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
事業活動	収入			
	介護保険事業収入	590,288	577,022	13,266
	老人福祉事業収入	28,595	26,721	1,874
	その他の収入	4,348	2,562	1,786
	事業活動収入計(1)	623,231	606,305	16,926
支出	人件費支出	443,670	420,828	22,842
	事業費支出	85,854	85,673	181
	事務費支出	86,965	71,031	15,934
	その他の支出	2,318	2,718	△ 400
	事業活動支出計(2)	618,807	580,250	38,557
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		4,424	26,055	△ 21,631
施設整備	収入			
	施設整備等収入計(4)	5,737	2,072	3,665
	支出			
施設整備等支出計(5)	34,311	32,085	2,226	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 28,574	△ 30,013	1,439
その他	収入			
	その他の活動収入計(7)	1,380	1,001	379
	支出			
その他の活動支出計(8)	2,466	2,345	121	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 1,086	△ 1,344	258
予備費支出(10)			0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△ 25,236	△ 5,302	△ 19,934
前期末支払資金残高(12)		250,172	255,474	△ 5,302
当期末支払資金残高(11)+(12)		224,936	250,172	△ 25,236

##### (2) 事業活動計算書

(単位：千円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動	収益			
	介護保険事業収益	590,288	577,022	13,266
	老人福祉事業収益	28,595	26,721	1,874
	その他の収益	2,557	1,566	991
	サービス活動収益計(1)	621,440	605,309	16,131
費用	人件費	447,030	423,381	23,649
	事業費	85,854	85,673	181
	事務費	87,462	71,031	16,431
	その他の費用	23,966	24,437	△ 471
	サービス活動費用計(2)	644,312	604,522	39,790
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		△ 22,872	787	△ 23,659
サ活動外	益			
	サービス活動外収益計(4)	4,017	2,464	1,553
	費用			
サービス活動外費用計(5)	2,318	2,718	△ 400	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		1,699	△ 254	1,953
経常増減差額(7)=(3)+(6)		△ 21,173	533	△ 21,706
特別	益			
	特別収益計(8)	5,737	2,187	3,550
	費用			
特別費用計(9)	9,289	2,172	7,117	
特別増減差額(10)=(8)-(9)		△ 3,552	15	△ 3,567
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△ 24,725	548	△ 25,273
繰越活動	前期繰越活動増減差額(12)	123,445	122,897	548
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	98,720	123,445	△ 24,725
	積立金積立額等(14)(15)(16)	0	0	0
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		98,720	123,445	△ 24,725

##### 【増減の理由等】

- 資金収支…当期資金収支差額合計は、2,524万円のマイナスとなっている、これは、新型コロナウイルスの影響によるデイサービスの利用者減や職員人件費と老朽化による器具等の購入・修繕費の増によるものである。
- 事業活動…当期活動増減差額についても、前年度の55万円の黒字から2,473万円の赤字になっている。

②部門別

(1) 資金収支計算書

(単位：千円)

	収 入		支 出		当期資金収支差額		
	当年度決算	前年度決算	当年度決算	前年度決算	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
法人	9	9	336	371	△ 327	△ 362	35
特養	245,621	223,226	240,757	220,440	4,864	2,786	2,078
短期	49,612	48,441	71,930	51,429	△ 22,318	△ 2,988	△ 19,330
通所	33,096	36,462	39,211	41,287	△ 6,115	△ 4,825	△ 1,290
居宅	10,298	11,308	10,785	11,401	△ 487	△ 93	△ 394
グループ	48,238	43,013	48,859	43,136	△ 621	△ 123	△ 498
在宅	1	1	1	1	0	0	0
ユニット	205,113	195,389	211,888	193,010	△ 6,775	2,379	△ 9,154
ケア	28,644	26,800	24,478	29,738	4,166	△ 2,938	7,104
包括	42,217	37,230	39,840	36,668	2,377	862	1,515
合計	662,849	621,879	688,085	627,181	△ 25,236	△ 5,302	△ 19,934
前期末支払資金残額					250,172	255,474	△ 5,302
当期末支払資金残額					224,936	250,172	△ 25,236

(2) 事業活動計算書 (経常業務を比較するため、サービス活動及びサービス活動外のみで集計)

(単位：千円)

	収 益		費 用		経常増減差額		
	当年度決算	前年度決算	当年度決算	前年度決算	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
法人	9	9	337	371	△ 328	△ 362	34
特養	221,086	212,409	245,364	223,903	△ 24,278	△ 11,494	△ 12,784
短期	49,530	48,441	38,259	39,110	11,271	9,331	1,940
通所	31,909	36,546	39,943	41,728	△ 8,034	△ 5,182	△ 2,852
居宅	8,133	9,810	10,691	11,474	△ 2,558	△ 1,664	△ 894
グループ	42,073	42,013	46,493	42,040	△ 4,420	△ 27	△ 4,393
在宅	0	1	178	178	△ 178	△ 177	△ 1
ユニット	202,021	194,431	201,568	181,188	453	13,243	△ 12,790
ケア	28,644	26,883	25,048	30,777	3,596	△ 3,894	7,490
包括	42,053	37,230	38,750	36,471	3,303	759	2,544
合計	625,458	607,773	646,631	607,240	△ 21,173	533	△ 21,706

【増減の理由等】

(1) 資金収支…当年度の収入については、全体では4,097万円の増で、その内訳は介護保険事業収入（補助金を除く。）（以下「事業収入」という。）137万円の増、新型コロナウイルス感染防止対策等の補助金収入1,636万円の増、繰入金収入2,000万円の増となっている。また、支出については、全体では6,090万円の増で、その内訳は人件費2,284万円の増、新型コロナウイルス感染防止対策等の経費増により事務費が1,593万円の増、固定資産取得支出101万円の増、繰入金支出2,000万円の増となっている。

各部門の主な理由は次のとおり。

特養は、繰入金収入1,400万円の増、人件費1,518万円の増、事務費754万円の増。

短期は、人件費354万円の減、事務費185万円の増、繰入金支出2,000万円の増。

通所は、利用者減により事業収入535万円の減、人件費85万円の減。

居宅は、利用者減により事業収入145万円の減、人件費102万円の減。

グループホームは繰入金収入500万円の増、人件費325万円の増。

ユニット型特養は、事業収入272万円の増、人件費1,231万円の増、事務費602万円の増。

ケアハウスは、老人福祉事業収入107万円の増、人件費545万円の減。

包括は、利用者増により事業収入436万円の増、人件費275万円の増。

(2) 事業活動…当年度の黒字は短期、ユニット型特養、ケアハウス、包括で当年度の収入及び支出について、主な理由は上記のとおりである。経常業務の収支差額合計は前年度50万円の黒字から2,117万円の赤字となった。

## 5. 年間行事

月	事業所行事	会議等	施設関係
4	上旬 お花見会		
5			
6	11,12 デザートバイキング	12 理事会 26 定時評議員会	14 受電設備改修工事
7			30 消防避難訓練
8	28 夕涼み会		
9	11 敬老会		
10		15, 23 職員会議	13 非常食提供訓練
11	11 寿司バイキング		28 消防避難訓練 15～本館エアコン取付工事 29 電話設備入替え工事
12	10 餅つき 16, 24 クリスマス会		
1		27 理事会	
2	上旬 節分豆まき	18, 26 職員会議	25 給配水管取替工事
3		19 理事会 29 評議員会	3 介護ベッド整備(10台)
通年	▽誕生日会(毎月随時) ▽クッキング(毎月随時) ▽理美容(3・4・1月除 各月中旬) ▽PT指導(4,5,6,10,1除 各月第2火)	▽部門責任者等会議(1除 各月第1木) ▽特養介護職員会議(1除 各月第3木) ▽カンファレンス(毎週水) ▽出張いきいき学習・相談会 (毎月第3水・木・金)【包括】	

### ○ 主な行事の事業トピック

#### ● 夕涼み会 (8月28日開催)

例年当施設最大の行事である夏祭りが、新型コロナウイルス感染防止対策の一環として中止となったため、当日の夕食を屋台メニューとしてユニットで喫食し、打上げ花火をメインとする夕涼み会を実施した。

#### ● 敬老会 (9月11日開催)

例年は特養本館・新館、ケアハウス、グループホームの各入所者が集まって開催しているが、新型コロナウイルス感染防止対策の一環としてそれぞれの場所で密を避けながら開催。入所者の歌やスタッフの余興で楽しむ。最高齢は103歳。

#### ● 非常食提供訓練 (10月13日実施)

自然災害や緊急事態への備えの一環として行う訓練。(毎年実施)

停電を想定し、ガスコンロで湯を沸かし、常備している高齢者用レトルト五目御飯を温め、インスタントの味噌汁、鉄分を多く含むタンパク質ゼリーを提供。災害時でも最低限の栄養を確保できるメニューを調理。

#### <参考> 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した主な行事

七夕コンサート、クリスマスコンサート

かななべ福祉まつり



## 6. 特別養護老人ホーム

(1) 従来型(多床室) 定員50名

①地域別入所者状況(3月31日現在) (人)

区分	令和元年度	令和2年度	前年度比増減
入所人員	49(男7、女42)	49(男7、女42)	0
神辺町内	37	35	-2
福山市(神辺町以外)	10	12	+2
福山市外	2	2	0

②入退所者の状況 (人)

区分	令和元年度	令和2年度	前年度比増減
新規入所	10(男2、女8)	9(男1、女8)	-1
退所	10(男1、女9)	9(男1、女8)	-1

③要介護認定状況(3月31日現在) (人)

介護度	令和元年度	令和2年度	前年度比増減
要介護1	0	0	0
要介護2	1	1	0
要介護3	4	6	+2
要介護4	18	21	+3
要介護5	26	21	-5
合計	49	49	0
平均要介護度	4.41	4.27	-0.14

(参考) 経管栄養摂取人数(人)

令和元年度	令和2年度
5	5

④入所状況の推移

区分	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	前年度比増減
平均年齢(歳)	90.3	88.8	89.1	87.1	88.8	1.7
平均要介護度	4.20	4.06	4.29	4.41	4.27	-0.14
退所者数(人)	13	16	6	10	9	-1
延空床日数(日)	196	317	383	310	233	-77
年間延入所者数(日)	18,054	17,933	17,868	17,990	18,017	+27
入所利用率(%)	98.9%	98.3%	97.9%	98.3%	98.7%	0.4%

※平均年齢、平均介護度は3月31日現在

※入所利用率=年間延入所者数÷年間延定員数×100(年間延定員数:50人×365日 ※H27・R元年度は366日)

※空床短期利用を含む

【増減の理由等】

④入所状況の推移…入院による空床期間が減ったことから、前年と比べ入所利用率は微増となった。

(2) ユニット型(個室) 定員40名

①地域別入所者状況 (3月31日現在) (人)

区分	令和元年度	令和2年度	前年度比増減
入所人員	39 (男7、女32)	39 (男6、女33)	0 (男-1、女+2)
神辺町内	26	28	+2
福山市(神辺町以外)	9	8	-1
福山市外	4	3	-1

②入退所者の状況 (人)

区分	令和元年度	令和2年度	前年度比増減
入所者	12 (男2、女10)	10 (男1、女9)	-2
退所者	13 (男4、女9)	10 (男2、女8)	-3

③要介護認定状況 (3月31日現在) (人)

介護度	令和元年度	令和2年度	前年度比増減
要介護1	0	0	0
要介護2	1	1	0
要介護3	9	12	+3
要介護4	17	13	-4
要介護5	12	13	+1
合計	39	39	0
平均要介護度	4.03	3.97	-0.05

(参考) 経管栄養摂取人数(人)

令和元年度	令和2年度
5	5

④入所状況の推移

区分	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	前年度比増減
平均年齢(歳)	89.2	90.4	90.9	89.7	90	0.3
平均要介護度	4.10	4.05	4.03	4.03	3.97	-0.06
退所者数(人)	7	10	9	13	10	-3
延空床日数(日)	82	206	139	512	390	-122
年間延入所者数(日)	14,518	14,394	14,461	14,128	14,210	+82
入所利用率(%)	99.4%	98.6%	99.0%	96.5%	97.3%	0.8%

※平均年齢、平均介護度は3月31日現在

※入所利用率=年間延入所者数÷年間延定員数×100 (年間延定員数:40人×365日 ※H27・R元年度は366日)

※空床短期利用を含む

【増減の理由等】

④入所状況の推移…入退所者が減り、退所から入所までの空床期間が減ったこと、入院による空床期間が減ったことにより、前年度と比べ入所利用率が増加した。

(3) ショートステイ (短期入所生活介護) 定員16名

① 利用状況 (人)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減
延利用日数	4,675	4,491	5,091	4,681	4,669	-12
延利用者数	863	833	788	758	239	-519
延実利用者数	445	419	428	437	217	-220
送迎回数	1,257	1,155	960	939	92	-847
1日平均利用者数	12.8	12.2	13.9	12.8	12.8	+0.0
利用率(%)	80.1%	76.9%	87.2%	79.9%	79.9%	+0.0

※利用率＝年間延利用日数÷年間延定員数×100 (年間延定員数:16名×365日 ※但しH27・R元年度は366日)

② 入所者状況 (人)

区 分		令和元年度	令和2年度	増減
年間実利用数		78 (男性20・女性58)	47 (男性11・女性36)	-31 (男性-9・女性-22)
内 訳	新規	30	13	-17
	既存	48	34	-14
地域別	神辺町	57	34	-23
	福山市 (神辺町以外)	14	7	-7
	福山市外	7	6	-1

③ 要介護認定状況 (3月31日現在) (人)

介護度	令和元年度	令和2年度	増減
要支援1	1	0	-1
要支援2	4	1	-3
要介護1	21	8	-13
要介護2	15	9	-6
要介護3	17	13	-4
要介護4	13	13	0
要介護5	7	3	-4
合計	78	47	-31

※要介護度は最終利用時

【増減の理由等】

- ①利用状況…新型コロナウイルスの感染防止対策で、新規利用者の受け入れを原則中止しており(R2年6月・7月以外) 前年度と比較して利用率の変化はない(長期利用者が多数)が、利用者数、送迎回数は大幅減となった。
- ②利用者状況…新型コロナウイルスの感染防止対策で、新規利用者の受け入れを原則中止していることから、今年度は47人の契約者が利用され、前年度と比べ、31人の減となった。

(参考)

令和元年度の実利用者78人の内、短期利用から7人が当施設に入所。(特養:6人/グループホーム:1人)

令和2年度の実利用者47人の内、短期利用から9人が当施設に入所。(特養:7人/グループホーム:2人)

7. ケアハウス（軽費老人ホーム） 定員20名（2人部屋:4、1人部屋:12 計16部屋）

①入居者要介護度(各年度末時点)(人) ②入居者年齢(各年度末時点)(人、歳) ③入居者前住所 (人)

区分	令和元年度	令和2年度
自立	0	1
要支援1	7	7
要支援2	4	3
要介護1	3	4
要介護2	1	0
要介護3	0	0
要介護4	0	0
要介護5	0	0
合計	15	15

区分	令和元年度	令和2年度
60～69	1	1
70～74	1	1
75～79	2	2
80～84	1	2
85～89	4	2
90～94	4	4
95～99	2	3
100～	0	0
平均	85.5	85.9

区分	令和元年度	令和2年度
神辺町	10	9
福山市 ※神辺町を除く	3	3
井原市	1	1
笠岡市	0	1
世羅郡	1	1
合計	15	15

④病院受診状況 (人)

区分	令和元年度	令和2年度
延受診	170	141
入院	5	3

⑤介護保険サービス利用状況 (人)

区分	令和元年度	令和2年度
ホームヘルパー	7	7
デイサービス・デイケア (サンサンホーム)	12	12
(その他)	3	2
	0	0
福祉用具貸与	5	5

⑥活動状況 (人)

区分	実施状況	令和元年度			令和2年度		
		延回数	延参加人数	1回平均	延回数	延参加人数	1回平均
ドライブ	随時	9	54	6.0	7	38	5.4
脳トレ	毎週	46	456	9.9	50	702	14.0
園芸クラブ	6月	1	3	3.0	1	1	1.0
クッキング	随時	2	6	3.0	2	6	3.0
買物会	毎週	54	391	7.2	68	381	5.6
誕生会	随時	11	130	11.8	11	138	12.5
食事会(外食含む)	随時	6	67	11.2	4	52	13.0

⑦行事

4月	お花見ドライブ	10月	コスモスドライブ
5月	朝顔の種植え・ポピードライブ	11月	握り寿司バイキング・紅葉ドライブ
6月	デザートバイキング・あじさいドライブ	12月	クリスマス会
7月	七夕会・避難訓練	1月	新年会
8月	夕涼み会	2月	
9月	敬老会	3月	

【増減の理由等】

- ・入所者数は、年度末時点では15名であり、前年と変わらないが、1部屋空室となっている。満室利用とするため、地域包括への空室情報提供や、紹介事業所への登録など、営業の取組を行っている。

## 8. デイサービス

### ①利用者数の年度別推移 (人)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減
延実施日数	309	309	308	309	295	-14
延利用者数	4,577	4,511	3,880	3,946	3,426	-520
1日平均利用者数	14.8	14.6	12.6	12.8	11.6	-1.2
利用率	49.4%	48.7%	42.0%	42.6%	38.7%	-3.9%

※利用率=年間延利用者数÷年間延定員数×100 (延定員数:30名×延実施日数)

### ②要介護度別利用者数 (人)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減
事業対象者	726					
要支援1	0	181	163	110	51	-59
要支援2	0	475	315	115	98	-17
要支援計	726	656	478	225	149	-76
要介護1	1,881	1,686	1,187	892	1,189	+297
要介護2	626	721	1,148	1,124	856	-268
要介護3	337	654	304	681	340	-341
要介護4	687	653	389	454	417	-37
要介護5	121	12	268	332	357	+25
要介護計	3,652	3,726	3,296	3,483	3,159	-324
体験・実費利用	199	129	106	236	116	-120
総計	4,577	4,511	3,880	3,944	3,424	-520

### ③介護度別登録者数 (人)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	増減
事業対象者	1					
要支援1	7	4	3	1	1	0
要支援2	5	4	2	1	1	0
要支援計	13	8	5	2	2	0
要介護1	15	12	9	10	5	-5
要介護2	8	8	9	9	5	-4
要介護3	3	7	3	5	1	-4
要介護4	8	7	3	4	3	-1
要介護5	2	1	3	2	1	-1
要介護計	36	35	27	30	15	-15
総計	49	43	32	32	17	-15
うち新規契約者数			10	7	4	-3

### ④サービス別利用者数 (人)

区分	令和元年度					令和2年度				
	入浴		給食		機能訓練 延参加者数	入浴		給食		機能訓練 延参加者数
	実人数	延人数	実人数	延人数		実人数	延人数	実人数	延人数	
要支援	2	236	2	225		2	134	2	149	
要介護	30	3,054	30	3,485	1,047	15	2,704	15	3,161	766
合計	32	3,290	32	3,710	1,047	17	2,838	17	3,310	766

#### 【増減の理由等】

①利用者数の年度別推移…1日平均利用者数・要介護登録者・新規契約者の減少。

※コロナウイルス感染症対応等で、利用の自粛・家族がショートステイ希望増により年間利用者数の減少。

※ショートステイ・特養・グループホーム・療養型施設に入所等の増加。(8名)

※コロナウイルス感染症等で、新規の利用者・紹介減少。(4名)

## 9. 居宅介護支援事業所

### ①登録・給付件数の推移

(件、人)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	前年増減
介護	登録	70	69	68	68	57	-11
	給付 ※A	61	64	57	58	47	-11
予防給付(委託) ※B		37	38	23	6	8	+2
給付管理件数 A+B		98	102	80	64	55	-9
申請 代行	新規・更新	31	70	42	50	10	-40
	区分変更	13	12	7	12	7	-5
職員数		3	3	3	2	2	0

### ②要介護度別利用者

(人)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	前年増減
要支援	458	472	466	146	76	-70
要介護1	360	359	373	332	217	-115
要介護2	155	168	172	193	160	-33
要介護3	100	130	102	108	129	+21
要介護4	120	89	61	71	73	+2
要介護5	25	20	54	32	40	+8
合 計	1,218	1,238	1,228	882	695	-187

### ③福祉サービス等申請代行

(件)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	前年増減
計画作成依頼届	25	15	12	21	8	-13
住宅改修	1	0	1	2	0	-2
高額介護サービス費支給	1	0	0	0	0	0
負担限度額	0	0	0	0	0	0
家族介護用品支給	0	0	1	0	0	0
福祉用具購入費支給	1	0	0	2	1	-1
食費助成	2	0	0	0	0	0

#### 【増減の理由等】

①登録・給付件数の推移…増減については介護給付・予防給付ともに管理者長期療養のため新規受入れ及び継続マネジメントが困難な方の積極的な受け入れを行わなかったため。また、死亡、施設入所、長期入院の方が多くいたことも減少した原因であると考え。

## 10. グループホーム（認知症対応型共同生活介護）

定員 9名

### ①地域別入居者状況（3月31日現在） (人)

区 分	令和元年度	令和2年度	前年度比増減
入居人員	9 (男3、女6)	9 (男3、女6)	0
神辺町	8	8	0
福山市(神辺町以外)	1	1	0

### ②入所の状況 (人)

区 分	令和元年度	令和2年度	前年度比増減
新規入居	3 (男1、女2)	4 (男2、女2)	+1
退居	3 (男1、女2)	4 (男2、女2)	+1

### ③年齢別入居者状況 (人、歳)

区 分	令和元年度	令和2年度	増減
65～69	1	0	-1
70～74	0	0	0
75～79	0	0	0
80～84	0	0	0
85～89	1	3	+2
90～94	3	2	-1
95～100	4	4	0
合計	9	9	0
平均年齢	92.0	93.2	+1.2

### ④要介護認定状況 (人)

介護度	令和元年度	令和2年度	増減
要支援2	0	0	0
要介護1	1	3	+2
要介護2	0	0	0
要介護3	2	2	0
要介護4	2	1	-1
要介護5	4	3	-1
合計	9	9	0
平均 要介護度	3.8	3.1	-0.7

#### 【増減の理由等】

- ・ 入居者の平均年齢が高くなった理由としては、60歳台の入居者が退居されたため。また、入居者の中に百歳以上の方が2名おられるため。
- ・ 平均介護度が前年に比べ軽くなった理由としては、介護度が高い入居者が退居された事に加え、介護度が低い方が複数入居されたため。

## 11. 地域包括支援センター

### ① 相談者数 (人)

区分	実人数	うち新規	延人数
令和2年度	1,774	642	3,932
令和元年度	1,732	651	3,647

### ② 相談者の内訳 ※延件数 (人)

区分	本人	家族	民生委員	介護支援 専門員	介護保険サー ビス事業	医療機関	認知症初期集中 支援チーム	認知症推 進員	関係機関	その他	合計
令和2年度	1,441	1,312	63	505	898	233	8	54	203	66	4,783
令和元年度	1,503	1,286	54	471	789	245	1	22	239	73	4,683

### ③ 相談内容 ※延件数 (件、人)

区分	高齢者 虐待	成年後見	処遇困難	ケアマネ 支援	介護保険 非該当	認知症	介護保険サービス		介護予防・生活支援サービス		
							要支援者	その他(要介護)	事業対象者	要支援者	その他
令和2年度	7	5	28	52	3	281	1,455	1,059	335	854	46
(家族相談内容) (再掲)	(2)	(4)	(7)	/	(2)	(195)	(904)	(710)	(158)	(421)	(28)
令和元年度	4	6	78	79	7	286	1,521	964	384	604	19

区分	介護保険外(生 活支援サー ビス)サービス	配食 サービス	福祉 サービス	医療に関す ること	介護者の離職防 止に関する こと	その他
令和2年度	0	33(15)	16(3)	50(39)	0	186(79)
令和元年度	1	28	12	/	/	185

### ④ 介護予防・日常生活支援サービスに係るケアプラン作成件数 (件)

区分	介護給付併用①	介護予防・生活支援サービス②				合計
		小計	ケアマネジメントA	ケアマネジメントB	ケアマネジメントC	
令和2年度	2,258	1,283	1,276	6	1	3,541
令和元年度	2,178	1,360	1,347	13	0	3,538

### ⑤ 介護予防支援給付管理数 (件)

区分	委託		包括		合計
	新規	継続	新規	継続	
令和2年度	20	1,917	42	1,562	3,541
令和元年度	10	2,221	42	1,265	3,538

### ⑥ 地域包括支援センター活動報告

#### (1) 地域包括支援センターの機能強化に係る活動 (回、人)

区分	令和元年度		令和2年度	
	開催数	参加者数	開催数	参加者数
地域ケア会議(個別)	0	0	1	8
地域ケア会議(圏域)	3	104	4	131
地域ケア向上事業(認知症相談)	3	64	0	0
認知症ケア向上事業(居場所づくり)	2	33	3	47
一般介護予防教室	27	334	22	274

#### (2) 地域包括支援センターが開催する会議・研修 (回、人)

区分	令和元年度		令和2年度	
	開催数	参加者数	開催数	参加者数
ケアマネ連絡会議	2	118	1	29
サービス事業所・施設連絡会議	0	0	0	0
その他	21	151	14	68



(3) 関係機関等が開催する会議・説明会への出席 (回、人)

区分	令和元年度		令和2年度	
	出席回数	出席者数	出席回数	出席者数
民協区定例会	3	8	2	3
地域組織の会議(自治会等)	0	0	0	0
GH・小規模多機能運営推進会議	17	20	1	1
地域包括支援センター連絡会(市主催)	10	16	9	10
地域包括ケアシステム推進会議			0	0
自立支援型地域ケア会議(市主催)			3	5
医療介護連携に係る会議・研修	2	3	0	0
その他	28	38	17	25

(4) 地域で開催される事業・行事への参加 (回、人)

区分	令和元年度		令和2年度	
	参加回数	参加者数	参加回数	参加者数
居場所づくり	2	4	2	3
百歳体操	9	12	1	2
プラザ等での健康教室	0	0	0	0
地域団体等(福祉を高める会、自治会等)	0	0	0	0
住民・人権学習会	0	0	0	0
敬老会・文化祭・福祉祭	1	4	0	0
その他	7	35	1	2

(6) 地域包括支援センター職員の研修への参加 (人)

区分	令和元年度	令和2年度
地域包括支援センター職員初任者研修、現任研修Ⅰ・Ⅱ	0	0
主任介護支援専門員研修	0	12
その他地域包括支援センター職員研修	4	0
介護予防支援関係研修	2	2
在宅医療・介護連携関係		1
認知症支援関係	3	1
生活支援体制整備関係		0
権利擁護、高齢者虐待の防止、対応関係	1	2
福祉用具・住宅改修関係	0	0
障がいに関すること		0
その他	1	4

(5) 啓発活動の内容 (回)

区分	令和元年度	令和2年度
介護予防関係	17	16
総合相談関係(介護等の相談会)	6	3
権利擁護関係	4	7
認知症予防関係	18	11
地域ネットワークづくり関係	22	23
その他	5	7

(7) ケアマネ支援について (件)

区分	令和元年度	令和2年度
リハビリテーション・福祉用具の活用に関すること	3	0
看取り等における看護サービス利用に関すること	1	1
認知症に関すること	15	10
入退院時等医療との連携に関すること	16	1
家族への支援に関すること	34	18
社会資源の活用に向けた関係機関との調整に関すること	1	2
状況に応じた多様なサービスの活用に関すること	15	15
その他	3	5
計	88	52

【増減の理由等】

- ・総合相談では、昨年に引き続き一人に対する対応回数が増えているため、解決の糸口を見つけるまでの時間がかかる。個別の課題から地域課題等を発掘する地域ケア会議を活用しながらの取組みが、引き続き必要。
- ・相談内容で「家族からの相談」の再掲をすると認知症や医療相談が多い。認知機能低下の高齢者の対応は多職種(認知症地域支援推進員や認知症初期支援チーム員・生活支援コーディネーター・リハ職・民生委員等)で連携をしながら対応をしている。
- ・介護保険の請求人数は、年度当初・市の介護予防事業(短期)開始月・年末に新規対応が増える傾向にある。今年はコロナの影響からか、変更申請も多く利用者の入れ替わりが多かったが、トータル数はあまり増減は見られない。退院時の支援も環境整備が多く、請求には至らなかった。また、業務委託をしている居宅事業所のケアマネ退職等により包括担当となる利用者(継続)が増加傾向にある。
- ・地域が主体となる活動は、新型コロナの影響で中止だったため関わる機会が少なかったが、包括主催の活動は感染対策をしながら可能な限り開催した。包括の業務である介護予防や権利擁護・地域のネットワークづくり等に関する啓発を意識的に行えた。
- ・年度当初は主任介護支援専門員研修以外はほとんど研修中止だったが、後半オンラインでの研修対応が増えたことで広域の研修にも積極的に参加できるようになり、専門職としての知識向上に役立った。

## 12. 食事サービス

### ①行事食提供回数

(回)

区 分	令和元年度				令和2年度			
	特養	デイ	ケア	グループ	特養	デイ	ケア	グループ
誕生会	4	15	10	0	7	9	9	0
食事会	13	7	0	0	4	4	0	0
クッキング	-	-	-	-	36	33	1	3
祝祭日 ※1	2	1	2	2	10	8	9	9
季節行事 ※2	17	12	18	17	18	15	17	17
非常食提供訓練	1	0	1	1	1	0	1	1
バイキング	3	2	1	1	4	2	2	2
総数	40	37	32	21	80	71	39	32

※1 祝祭日…こどもの日、元旦

※2 季節行事… 花見、母の日、父の日、七夕、土用の丑の日、縁日、敬老会、彼岸法要、餅つき、  
冬至、クリスマス、大晦日、七草、鏡開き、新年会、節分、雛祭り

### ②年間食事提供状況

区 分	令和元年度	令和2年度	
年間給食日数(日)	366	365	
年間給食延食数(食)	120,888	119,920	
年間給食延人員(人)	40,296	39,973	
1日平均 給食人員 (人)	特養	78.9	76.5
	ショート	11.4	11.9
	ケア	12.0	11.6
	グループ	8.6	8.6
	デイ	12.7	11.2
	職員	16.4	15.5
	計	140.0	135.3

### ③特別食提供状況

(人)

区 分	令和元年度	令和2年度	
糖尿食	(1,300kcal)	0.2	-
	(1,200kcal)	0.3	0.9
	(1,100kcal)		0.3
減塩食 (腎臓・心臓疾患)	4.8	2.3	
貧血食	3.0	3.0	
加算対象	8.2	6.8	

※1ヶ月平均

### 【増減の理由等】

※令和2年度分よりクッキングの回数を記載。前年度までは食事会回数に含む。

12月から栄養士育休復帰し食事作り・クッキングを再開。しかし1月は新型コロナ対応により食事会、クッキングともに0回。誕生会に誕生者の食べたいメニューを作り提供、ケーキを作ってお祝いすることが増えたことで全体数は増加した。

### 13. 保健衛生

#### ① 嘱託医による診察

(回、人)

区分	令和元年度	令和2年度	前年度比増減
内科回数	97	93	-4
受診者延数	2,451	2,232	-219
歯科回数	134	123	-11
受診者延数	1,079	974	-105

(内科=火・金、歯科=月・水・木)

#### ③入院状況

(人、日)

区分	令和元年度	令和2年度	前年度比増減
人数	24	17	-7
日数	518	349	-169

#### ④ ショートステイ利用者 外来受診状況

(人、日)

区分	令和元年度	令和2年度	前年度比増減
人数	15	20	+5
日数	21	27	+6

#### ②外来受診者延人数

(人)

区分	令和元年度	令和2年度	前年度比増減
内科	63	52	-11
精神科	13	14	+1
皮膚科	18	19	+1
眼科	14	17	+3
整形外科	51	36	-15
形成外科	1	2	+1
脳神経外科	4	6	+2
婦人科	0	0	0
肛門科	0	1	+1
耳鼻科	2	0	-2
泌尿器科	9	10	+1
口腔外科	1	0	-1
乳腺外来	0	5	+5
合計	176	162	-14

#### ⑤ 感染症取組状況

##### (1) インフルエンザ

感染者数(人)		取組・対応
利用者	職員	感染対策を徹底する事により、今季のインフルエンザ発生をおさえる事ができた。
0	0	

##### (2) ノロウイルス

感染者数(人)		取組・対応
利用者	職員	11月から3月の間に嘔吐した利用者に対してはノロウイルスの疑いがあるとし、隔離・使用した物・場所全て消毒の徹底。
0	0	

##### (3) 新型コロナウイルス

感染者数(人)		取組・対応
利用者	職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>1/1陽性者を確認する。それを受け陽性者の隔離、施設内のゾーニング実施した。コロナ対策会議を随時開催。保健所の指示・指導連携をとりながら感染対策を行った。</li> <li>職員の毎日の検温・記録。マスク着用、手指衛生、フェイスシールドの徹底。随時PCR検査の実施。</li> <li>他部門間での移動の制限を行い、他部門の職員同士の接触回数を減らした。</li> </ul>
5	2	

#### 【増減の理由等】

- ・ 外来受診者延数…外来受診の総数に大きな増減はないが、内訳では整形外科が減少している。前年度より、骨折疑いや骨折などによる受診が少なかった事が理由として挙げられる。

## 14. ボランティア活動の状況

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から受入れを全面的に中止

<参考> 令和元年度の実施状況

日付	来客者氏名(団体名)	人数	内 容	利用者参加状況			
				特養・ユニット	通所	グループ	ケア
4月15日	吉川勝弘様	2	ハーモニカ演奏		○		
4月18日	萩原加千子様	1	琴演奏	○	○	○	○
5月23日	吉川勝弘様	1	ハーモニカ演奏		○		
5月30日	野菊の会	15	銭太鼓踊り	○	○	○	○
6月6日	第32区民生委員	20	歌、劇、ビンゴゲーム	○	○	○	○
6月14日	ホープ・フル・クローバー	2	ハーモニカ演奏	○	○	○	○
6月18日	日舞 中村流 明日香会	10	日本舞踊	○	○	○	○
6月21日	岩本世貴代様	2	カラオケ		○		
6月24日	吉川勝弘様	2	ハーモニカ演奏		○		
6月26日	民生委員(中条地区)	12	清掃ボランティア	○			
6月27日	ほたるの会	9	琴演奏	○	○	○	○
7月4日	七夕コンサート(奥野純子様)	2	オペラ・童謡	○	○	○	○
8月6日	昭和歌劇団	5	カラオケ、手遊び歌	○	○	○	○
8月9日	備後ハッピー交友会	13	歌、踊り	○	○	○	○
8月22日	岩本世貴代様	2	カラオケ		○		
8月26日	吉川勝弘様	2	ハーモニカ演奏		○		
9月9日	ハーラル・フラ・オ・カ・レオ・マルヒア	8	フラダンス	○	○	○	○
9月18日	ホープ・フル・クローバー	2	ハーモニカ演奏	○	○	○	○
10月24日	岩本世貴代様	2	カラオケ		○		
10月25日	萩原加千子様	1	琴演奏	○	○	○	○
10月29日	吉川勝弘様	2	ハーモニカ演奏		○		
11月4日	和太鼓遊人会「打達」	5	和太鼓演奏	○	○	○	○
11月14日	吉川勝弘様	2	ハーモニカ演奏		○		
11月15日	岩本世貴代様	2	カラオケ		○		
11月20日	駅家ハーモニカフレンズ	14	ハーモニカ演奏	○	○	○	○
12月5日	金島えみ子様	4	しめ縄作り		○	○	○
12月10日	クリスマスコンサート(奥野純子様)	2	オペラ・童謡	○	○	○	○
12月20日	暁の星高校	4	カレンダー・タペストリー持参				○
1月17日	第33区民生委員(御野学区)	13	清掃ボランティア	○			
1月24日	ホープ・フル・クローバー	2	ハーモニカ演奏	○	○	○	○
1月31日	吉川勝弘様	2	ハーモニカ演奏		○		
2月20日	第33区民生委員(竹尋学区)	11	清掃ボランティア	○			
令和元年度 計		168					
平成30年度 計		164					